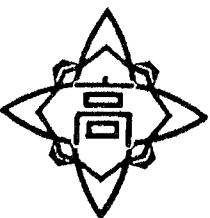


山形県立

令和4年3月2日

第60号



荒砥高等学校同窓会報

発行：山形県立荒砥高等学校同窓会
事務局：県立荒砥高等学校内
〒992-0831 白鷹町荒砥甲 367
電話：0238-85-2171 Fax 0238-85-2823
U R L <http://www.arato-h.ed.jp>
E-mail arato@arato-h.ed.jp

探究課題の発表会

克己復禮

同窓生総数 9,372名

かつても自分はこの道を進むんだ。」という人生の目標を見つけ、それを実現するために努力してください。

花は春夏秋冬それぞれの季節で咲きますが、寒い冬にしか咲かない花もあります。大切なことは、自分は冬に咲く花なのに、その自覚をせずに他の人が春に満開になつたからといって腐つたり、放り投げたりしないことです。出番は、必ずやります。常に努力を続ける勇気と忍耐力こそが一番大切なことです。突然に、何年分もの成長を自分にもたらしてくれるかもしません。

成人年齢が、4月より18歳になります。自分の意志でできることが増える半面、自分の身は自分で守ることになります。荒砥高校で身につけた力と心で一人の人間として歩み始めてください。

前途洋々たる皆さんのが活躍を祈念致します。

同窓会長 青木 輓
ご卒業おめでとうございます。
そして、荒砥高等学校同窓会への
入会を心から歓迎いたします。
さて、皆さんは進学、就職とそれ
スタートします。卒業後は「何年か

歓迎のあいさつ

めで感謝とお祝いを申し上げ
ます。

荒砥高校に関係する皆が、
協力、連携、協働して、高校
の存続と発展に結び付けてい
きたいものです。 (松野)

町芸術文化協会から吹奏楽部顧問の本田礼先生が、特別文化功労章表彰を受賞されました。この受賞は、生徒の皆さんに自信を与えてくださったこと、そして、荒砥高校の良さ・素晴らしさを内外に発信していただいたということでの受賞と思つております、あらためて

二〇二〇ナ学の中学校生活や日常生活でいろんな制約・制限を受けた三年生36名が卒業を迎えます。高校生活の記憶の中に、「コロナ」が刻まれるのかは別として、荒砥高校での三年間をベースにそれぞれの目指す目的に向かって頑張つてほしいものです。

その生徒たちをサポートしてくださった教職員の皆様に心から感謝致します。この度、

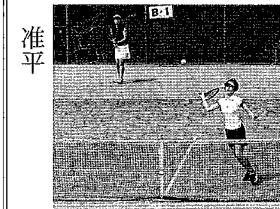
あとがき

卓球部での三年間紹介

私が卓球部に入部した時、二年次が4人、一年次が4人の合計8人でした。部活では、様々な練習メニューに取り組み、辛い時もありましたが、たくさんの人と楽しく、そして本気で取り組むことが出来ました。

私が卓球部に入部

三位	河井 虹星	第三位	遠藤 蓮華（全国囲碁選手権出場）
二年	松野 殊音	第二位	嶽本 結月（全国囲碁選手権出場）
一年	山形県高等学校美術展 奨励賞	第一位	第四回全日本碁道大会（府県大会）
	油彩画 松岡 深平		
	だけの練習ができる		



克己復禮

○	陸上競技部
○	県高校総合体育大会 男子リレー 小松丈祐、打田捷人 出場（合同チーム）
○	県高校新人大会 テニス部 男子リレー 佐藤優太 出場（合同チーム）
○	県高校総合体育大会 女子ダブルス 松田琴美、須貝綾奈出場 女子シングルス 松田琴美 出場

令和3年度卒業生進路状況

令和4年2月1日 現在

進路先		人數			割合		前年度実績	
		男子	女子	合計	部門毎	全体	人數	全体%
就職	自雇	8	1	9	40.0%	45.7%	8	15.2%
	選択	4	2	6	40.0%	18.7%	7	15.0%
	販賣	0	0	0	0.0%	0.0%	2	4.0%
	管内計	9	3	12	20.0%	33.3%	17	38.0%
	その他業界	0	1	1	0.7%	2.8%	4	0.9%
	海外	1	1	2	13.3%	13.3%	2	4.0%
	公務員	0	0	0	0.0%	0.0%	2	4.0%
	就職計	10	4	14	100.0%	41.7%	26	56.0%
進学	大学	3	2	5	20.0%	13.9%	0	0.0%
	短期大学	0	4	4	21.1%	11.1%	4	0.1%
	高専・医技専等	0	0	0	0.0%	0.0%	2	4.0%
	専修短大	0	0	0	0.0%	0.0%	1	2.3%
	専門学校等	2	8	10	82.6%	27.3%	11	25.0%
進学計		5	14	19	100.0%	82.6%	16	40.0%
その他・未定		1	1	2		2.8%	1	2.3%
卒業者数		16	20	36		100.0%	44	100.0%

令和3年度卒業生 同窓会評議員名簿

地区名	氏名
白鷺東地区	松野 殊音
白鷺西地区	小松 丈祐
長井他地区	渡辺 結太
関東支部	(該当者なし)

工夫と協力で乗り越えた一年



荒砥高等学校同窓会の皆様には、

本校教育活動に対しまして、日頃、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大から2年を経て、「新しい生活様式」がすっかり定着した学校生活となりました。今年度は、昨年できなかつたことを少しでも取り戻したいという思いを、生徒と教職員が共有しながら、日々の授業や学校行事、部活動などに取り組んで参りました。

体育祭、荒高祭、クラスマッチの三大行事は、感染対策を行いながら実施し、大きな成果をあげることができました。部活動でも、総合文化部団体の全国大会出場、吹奏楽部第18回定期演奏会の大成功など、各部で活躍がみられました。

三年生の進路については、各自の進路希望実現に向けて

熱心に取り組み、西置賀地域の事業所を中心に就職の内定、四年制大学、短期大学、専門学校への合格と、夢の実現に迫りました。

新たな試みとしては、後援会のご支援により教職員にタブレットを貸与させていただき、授業等でICTの活用が進みました。次年度は、生徒にも県からタブレットが貸与され、一層学習の充実が図られます。

一方、地域の皆様との交流やボランティアなどは、いまだ制限のある活動にとどまっています。今後再開の機会を模索していくたいと考えています。

令和4年度も、小規模ながらも一人ひとりが輝く学校をめざし、教職員一同励んで参ります。同窓会の皆様には、

一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、荒砥高等学校同窓会のご発展と、皆様のご健勝をご祈念いたします。

私も4月から、地元を離れ少し離れたところで大学生として新しい生活を送ります。今まで出会えた人たちに感謝の気持ちを忘れず、志を持つこれから的人生を歩んでいきたいと思います。

私が4月から、地元を離れたことで、とても成長しました。仲のいい人はもちろんですが、様々な行事、日常生活を過ごしていくうちに、様々な人と親交を深める

私にとって荒砥高校で過ごした三年間は、かけがえのない思い出です。今思えば、毎日友達と笑い合って生活していました。時には、大変なこともあります。

ともありましたが、仲間と励まし合いながら乗り越えることができました。

私は、部活動や行事、生徒会活動を通してたくさんの方々とを学ばせていただきました。その中でも特に、テニス

部で過ごした日々は、私を大きく成長させてくれました。毎日の練習はとてもつらかったですが、日々上達するのが実感でき、大会でも多くの結果を残すことができました。一緒に努力してきた仲間の存在が、私の糧となりました。支えてくれている方がいたから最後まで諦めずに続けてこられたのだと思います。

私は荒砥高校での生活で、かけがえのない仲間に出会うことができました。春から、山形歯科専門学校に進学します。時にはつらいこと、逃げたくなることもあるかも知れません。ですが、三年間を過ごすことができました。中には精神的な面や、困ったときなどに助けてもらつたこともあります。友達はもちろん、先生方など周りの人達が支えてくれたことに感謝しています。

ここまでたくさんありました。

が、たくさんの人との関わり

を持つことで、とても成長し

たと感じます。仲のいい人は

もちろんですが、様々な行事、

日常生活を過ごしていくうち

に、様々な人と親交を深める

かけがえのない日々

松田 琴美

校長 地主佳子

部で過ごした日々は、私を大きく成長させてくれました。毎日の練習はとてもつらかったのですが、日々上達するのが実感でき、大会でも多くの結果を残すことができました。

しかし、それだけに頼つ

て、私たちが頑張つていま

す。

今までお世話になつた方々

に感謝の気持ちを忘れず、前

に進んでいきたいと思いま

す。ありがとうございました。

ません。ですが、三年間を通じて、私たちが頑張つていま

す。

して学んだこと得た力を信じ

て、

今までお世話になつた方々